

## 第8回口蹄疫対策検証委員会の概要

(平成22年9月24日開催)

今回は、最終報告書の取りまとめに向け、科学的技術的観点から、水際措置の強化、飼養衛生管理基準の在り方、早期通報が必要となる症状、都道府県段階での口蹄疫診断の是非、殺処分方法、埋却地の在り方、消毒の実施方法について、委員間で議論を進めた。

更に、今後の委員会の進め方についても意見交換を行った。主な内容は以下のとおり。

- 「これまでの議論の整理」を更に肉付けするため、疫学調査の報告を参考にし、また、更に専門家や生産者等からヒアリングを行うこととしたい。
- 宮崎県の検証委員会とも合同会議を持つことを申し入れることとする。
- 最終報告の取りまとめ方については、委員の中で執筆担当を決め、「今後の防疫対応の問題点」と「今後の改善方向」の2グループに分けて作業し、最後は委員会全体でまとめることとする。

次回会合では、時間の都合から今回議論できなかった科学的技術的論点を含め、引き続き議論を進めることとなった。